

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉まつり補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	地域福祉の祭典「福祉まつり」を開催し、市全体が福祉について考え、体験し、互いに触れ合う場を提供する。						
事業の概要	さくら市福祉まつり実行委員会を運営するさくら市社会福祉協議会に補助金を交付し、事業運営を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	930	930	930			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	福祉まつり参加団体数	団体	73	73	80	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	生涯学習課の「ゆめ！さくら博」と合同開催することで、経費の削減を図ることができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市社会福祉協議会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	君島成美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	社会福祉協議会の活動に賛同する方が増加し、市民主体による自主運営比率が高まる。						
事業の概要	社会福祉施設整備費・運営費補助金として、運営費（人件費）に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	29,075	33,814	34,190			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	社会福祉協議会の自主運営比率	%	82.62	80.99	85	85
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	自主運営比率が令和5年度と比較して1.63%減少した。理由は、年度中に職員体制変更が生じ（職員の育児休業取得）人件費支出が予算措置額を上回ったためと、自主財源による繰り入れ額が減少したためである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会福祉施設運営事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	健康福祉部 高齢課			担当者	安達 恭子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	高齢者等への健康増進、教養の向上や各種相談等を通し、明るい生活の営みに貢献する。施設利用により、生きがいを持った活力ある生活をしてもらう。						
事業の概要	高齢者及び身体障がい者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。（指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,243	7,080	5,243			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	3施設の年間利用者数（延べ）	人	8,064	8,405	8,490	8,570
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	趣味の講座やサロンを実施するなどの工夫で、多くの高齢者が健康増進、憩いの場としてセンターを利用し、十分な成果がでている。講座の内容などを工夫し、利用が増えるよう施設の運営を図っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民生委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	菅俣 宏太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	民生委員児童委員研修会等に参加することにより、民生委員児童委員としての知識や能力が向上する。						
事業の概要	民生委員児童委員協議会が行う事業（研修会等）に対し助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,178		8,183		8,566	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	活動日数	日	6,368	6,657	7,400	7,400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型感染症の影響で制限されていた各部会研修活動が再開し、サロン等地域の活動も増加した。今後もイベント参加による地域連携や、福祉ニーズの多様化に伴う知識取得のため定例会・研修会を開催し、委員に求められる地域の役割を果たしたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	心配ごと相談事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	市民のあらゆる相談に応じる窓口があり、市民が安心して生活を送ることができる。						
事業の概要	毎月1回心配ごと相談を行い、生活上の悩みごと全般の相談を受ける。（さくら市社会福祉協議会への委託事業）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	131		141		141	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	相談者数	人	10	14	20	20
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談者は14人、15件。昨年度より相談者数は伸びたが、まだ周知不足と考えられる。事業実施について市広報紙やホームページを活用し、市民への周知促進に努め心配ごとに寄り添う。相談方法の工夫、検討が必要。（電話による相談等）					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	見守り福祉ネットワーク推進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	健康福祉部 高齢課			担当者	安達 恭子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	要援護者が安全かつ安心して生活できる						
事業の概要	見守り協定を締結した協力事業所等が市と連携し、要援護者を見守り、異変の早期発見と迅速な対応を図ることにより、安全かつ安心して生活できる環境の構築を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,090	831	481			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	見守りに関する協定件数	件	34	35	36	37
	活動	災害時避難行動要支援者名簿掲載同意者数	件	1,374	1,219	1,269	1,319
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	見守りの体制が整備され、日常生活を送るうえで支援を必要とする方が、安全かつ安心して生活できる環境が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	●拡大 ○現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	重層的支援体制整備事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	制度や分野を超えて地域住民や多様な機関が「丸ごと」つながることで、地域共生社会の実現を目指す。						
事業の概要	相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、多機関協働、支援プランの作成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	17,121	17,851	17,261			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	地域共生センターがどれだけ相談を受けているか	件	95	135	200	200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談員の配置を常勤4人としたが、新規件数の大きな伸びはなかった。しかしながら継続的な支援件数が増加し、多機関と連携しながら伴走的支援を行うなど一定の活動ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ひきこもり支援事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	ひきこもり状態にある者及びその家族に対し、支援事業を通して社会参加や自立支援の推進を図ることを目的とする。						
事業の概要	相談支援、居場所の設置、関係機関との連携及び連絡調整、情報発信、対象者の状況に応じた社会参加に向けた支援、対象者の把握、ひきこもりサポーター派遣を社協へ委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	136	4,828	4,919			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	相談件数	件	9	11	20	20
	成果	講演会（専門職による勉強会含）	回	1	3	7	7
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	常設の相談窓口を設置し、専門のコーディネーターを配置。周知不足のため、今後は周知に力を入れる。住民向け講演会は講師を2名依頼し、支援者及び当事者双方の話を聞けるよう工夫した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	●拡大 ○現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	指定難病患者見舞金支給事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	網野 悠介		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	指定難病患者及び保護者の苦労を見舞う。						
事業の概要	原因不明や治療方法の確立していない難病に罹患した方に見舞金（年額2万円）を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	6,100	6,580	6,500			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	受給率	%	94	87	87	87
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受給率は減少傾向にあるが、見舞金を支給することで受給者及び家族の苦労を見舞い、福祉の増進に寄与している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市遺族会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	君島成美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	各種事業（戦没者合同慰霊祭等）や研修等を通し、会理念（英霊顕彰）継承と会員親睦、交流を深め、会の発展と遺族の福祉向上を図る。						
事業の概要	市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき事業内容を審査し、団体運営費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	213		213		213	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	各種事業参加延べ人数	人	212	195	195	195
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	本会理念継承のために、役員が事業内容を工夫して企画し、各々会員が参画しやすい環境を作り活動機会を広げるための事業を実施した。終戦80年を迎えるにあたり会員の高齢化は否めず、そうした困難課題を抱えながらも、退会者を微増に抑え同会存続に努めた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	小堀梨絵		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄等の提供時の経済的負担を軽減することで提供者を支援し、移植の推進やドナー登録の増加を図る。						
事業の概要	骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		210	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	交付申請者数	人	0	0	1	1
	成果	交付申請事業所数	件	0	0	1	1
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	ドナーについての問い合わせあったが、申請者はいなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		